



全日畜だより

[こちら編集部] (03)-3583-8034

東京都港区麻布台2-2-1麻布台ビル

発行日 2021年1月1日

発行NO 2021 - 40号

新年あけましておめでとうございます

全日畜から 新年のご挨拶

みなさん新年あけましておめでとうございます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症に翻弄された1年でした。世界的には、12月に感染を免れていた南極大陸で感染が確認され、新型コロナウイルスの感染は5大陸すべてに及びました。

わが国では、4月に新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が発出され、その後期間延長や区域変更等が続いて、やっと5月25日に解除となりました。一旦収まりかけたかと思ったら、年末にかけて爆発的に感染者が増加しています。コロナ禍での畜産物価格の下落や、併せて、12月の寒波襲来で予想外の大雪が降り、鳥インフルエンザの感染が拡大し、CSF（豚熱）が発生するなど、課題が山積で、私たち畜産経営者には気の休まらない1年でした。

迎えた令和3年。干支は私たちと関係が深い「牛さんの年」。「丑（うし）年」は、「牛さん」の性格等から「我慢（耐える）」や「発展の前振れ（芽が出る）」と言われます。3月には東日本大震災から10年です。新型コロナウイルスの蔓延で、しばらくは耐え忍ぶ年になるかもしれませんが、地道に突き進むことで新たな発展へとつなげる年にしていきたいと願っております。

全日畜は、今年も諸活動をとおして畜産経営者の皆さんを支援して参ります。

うし年の豆知識

- **うし年の特徴** 従順な家畜として昔から親しまれてきた「牛さん」の特徴から、先を急がず目の前を確実に進めることが将来の成功につながっていくと言われています。
- **闘牛で赤い布を使う理由** 牛は色が識別できないのでモノクロに見えています。赤い布を使うのは、牛ではなく闘牛士や観客を興奮させるためなのです。



全日畜理事長 金子春雄

今年は「牛さん」の年



「全日畜」は畜種横断の畜産経営者の団体です

(文中での団体の略称表記について)

- ・一般社団法人 全日本畜産経営者協会（全日畜）
- ・一般社団法人 全日本配合飼料価格畜産安定基金（全日基）
- ・協同組合 日本飼料工業会（工業会）
- ・一般社団法人 都道府県配合飼料価格安定基金協会（〇〇県基金協会）

昨年（令和2年）の全日畜活動を振り返ってみました

○コロナ禍の下で新しい会議形式に挑戦

ある調査では対面派52%Web派48%。対面メリット①意思疎通がしやすい、②Web会議は不具合が生じる、③発言や議論がしやすい、④資料や現物の共有ができる。Webメリット①移動しなくていい、②緊張やストレスが少ない、③会議が長引かない、④画面共有ができて便利。とのことでした。



(試行してきたWeb会議を理事会で実践 12/23)

○「JRA事業 調査研究発表会」の5事業に選ばれる

昨年度終了した「スマート畜産調査普及事業」がJRAの令和2年度調査研究発表会の5題のひとつに選ばれました。今年度はコロナ対策として、講演会スタイルに代えてWebでの発表会。全日畜はアンケート調査結果や全国5か所で開催したシンポジウムの概要等を紹介しました。まだ掲載中です。



(2年間の事業成果をWeb発表会で紹介 10/8)

○関心の高い「自然災害の実態調査」に着手

今年度から「自然災害に強い畜産経営の実現調査（JRA事業）」を実施。初回のワークショップは昨年大型台風15号に襲われた千葉県での開催。首都圏で予想もしない2週間の停電を経験、自身で撮影した生々しい写真を持参しての惨状の報告や飼料メーカーの迅速な支援等の報告がありました。



(テーマは重くても意見交換は活発 9/4)

○懐かしい大集会「第7回 畜産経営者交流会」

関係団体等からの評価も高い3団体（工業会・全日基・全日畜）が共催している畜産経営者交流会。今思い返せば羨ましいほどの大集会。コロナの影響で既に今年度の開催は見送りが決定しています。コロナが収まり全国の畜産経営者を招いての交流会が再開されることを願っています。



(交流会は講演会+事例発表会+参加者との討論会 2/17)

○活発だった地域組織の諸活動もコロナで自粛

写真は九州全日畜がコロナ禍が蔓延する以前に実施した現地研修会の様子（開催地：山口県）。管内（山口・九州・沖縄）の関係者が参加しての特定課題についての研修会。この後は、コロナウイルスの感染が全国に拡大して、地域で計画した殆どの企画は実施が見送りになりました。



(飼料用米貯蔵タンクを視察した現地研修会 1/24)

(文中での団体の略称標記について)

- ・一般社団法人 全日本畜産経営者協会（全日畜）
- ・一般社団法人 全日本配合飼料価格畜産安定基金（全日基）
- ・協同組合 日本飼料工業会（工業会）
- ・一般社団法人 都道府県配合飼料価格安定基金協会（〇〇県基金協会）